



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長

（氏名） 渡辺 裕之

問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員管理統括本部長

（氏名） 田中 洋司 TEL 06-6779-1171

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	15,586	7.7	434	32.2	489	26.6	312	49.1
2026年3月期第1四半期	14,473	6.9	328	△25.1	386	△26.3	209	△41.1

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 344百万円（105.3％） 2026年3月期第1四半期 167百万円（△50.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	15.97	—
2026年3月期第1四半期	10.71	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	33,326	15,323	46.0
2026年3月期	33,720	15,331	45.5

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 15,323百万円 2026年3月期 15,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	59,500	1.4	980	△21.7	1,200	△17.9	830	△14.9	42.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社 (社名) -, 除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	20,102,000株	2026年3月期	20,102,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	527,253株	2026年3月期	527,253株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	19,574,747株	2026年3月期1Q	19,574,826株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、継続する物価上昇や米国の通商政策の動向、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなどから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するスポーツ用品業界においては、少子化の進行や気候変動に伴う需要の変化に加え、物流費や人件費の上昇などの影響もあり、経営環境は予断を許さない状況が続いております。

一方で、健康志向の高まりやスポーツ活動への関心の定着を背景に、ランニングやアウトドアをはじめとする幅広い分野において底堅い需要が続いております。また、スポーツブランドのライフスタイル市場への浸透も進み、流通市場全体では安定した購買需要が維持されております。このような環境のもと、スポーツ用品市場は、中長期的な成長が期待されております。

このような状況のなか当社グループは、中期経営スローガンとして「一致結束をより強固にし、スポーツ総合商社として、周りの信頼と信用を高めながら、会社も個人もより高みを目指していく」を掲げ、基本方針として「長期的に利益を稼ぎ続ける仕組みと風土づくり」、「売上拡大のための成長戦略」、「経営効率化のための構造改革」、「経営基盤（人材・物流・DX）の強化」、「ESG経営の推進」を定め、グループ各社一丸となって取り組み、企業価値向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、スポーツ市場及びライフスタイル市場において、提案型営業の推進を通じて取引先との関係強化を図るとともに、主力ブランドの取扱い拡大に努めました。また、在庫流動管理の適正化を一層推進するとともに、省人化を目的とした設備投資を実施するなど、物流体制の効率化に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、15,586百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は434百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益は489百万円（前年同期比26.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は312百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

（卸売部門）

スポーツ市場においては、健康志向の高まりや観戦型・参加型イベントの多様化などにより、各カテゴリーで需要は底堅く推移いたしました。野球・ソフトボール用品「ゼットベースボール」では、ユニフォームを中心としたアパレルが引き続き堅調で、スパイクも好調に推移いたしました。テニス・バドミントン用品では、国内競技需要や高単価ラケットなど高価格帯商品に対する需要の高まりもあり引き続き堅調に推移いたしました。サッカー用品では、国際大会関連の需要もあり、アパレル、フットウェアを中心に引き続き好調に推移いたしました。卓球用品においては、インバウンド需要の影響もあり好調に推移いたしました。ライフスタイル市場においては、高機能シューズは落ち着きが見られますが、アパレル関連は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は15,185百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

（製造部門）

野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」においては、ホワイトスパイクが引き続き高評価を得ており、オーダーグラブはプロスタッフの活躍などにより好調に推移いたしました。バスケットボール用品の「コンバース」においては、競争環境の激化等の影響により、販売は低調に推移いたしました。一方で、製造部門の経営環境は、原材料価格の高騰や対米ドル円安状態が継続したことによって、製造原価は高止まりしており厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は113百万円（前年同期比7.7%増）となりました。製造部門の売上高の大部分は卸売部門向け取引によるものであり、当該取引は連結売上高には含まれておりません。なお、グループ内売上高は2,059百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

（小売部門）

専門性の高い品揃えと接客の質の改善に取り組みましたが、前期途中での一部店舗の統廃合等により減収となりました。

この結果、売上高は90百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

（物流部門）

外部受託業務の取扱数量の減少により低調に推移いたしました。

この結果、売上高は195百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は24,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,423百万円減少いたしました。これは主に電子記録債権が768百万円増加したものの、売掛金が1,754百万円、現金及び預金が1,309百万円減少したことによるものであります。固定資産は8,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,030百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が2,041百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は33,326百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は16,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ300百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が666百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1,108百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が51百万円、長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は18,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は15,323百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が26百万円増加したものの、利益剰余金が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,099	7,789
受取手形	181	179
売掛金	10,560	8,806
電子記録債権	2,181	2,949
商品及び製品	4,236	4,213
仕掛品	87	60
原材料及び貯蔵品	194	187
返品資産	344	350
その他	320	263
貸倒引当金	△86	△103
流動資産合計	27,119	24,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,503	2,514
減価償却累計額	△1,937	△1,904
建物及び構築物（純額）	565	609
土地	1,228	1,228
その他	955	917
減価償却累計額	△706	△681
その他（純額）	248	235
有形固定資産合計	2,042	2,073
無形固定資産		
その他	78	80
無形固定資産合計	78	80
投資その他の資産		
投資有価証券	3,893	5,935
長期貸付金	10	10
敷金	245	245
その他	400	376
貸倒引当金	△71	△92
投資その他の資産合計	4,479	6,476
固定資産合計	6,600	8,630
資産合計	33,720	33,326

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,929	6,821
電子記録債務	6,395	7,062
1年内返済予定の長期借入金	101	101
未払法人税等	269	260
未払消費税等	135	166
賞与引当金	268	252
返金負債	405	412
その他	1,104	1,232
流動負債合計	16,608	16,308
固定負債		
長期借入金	148	123
繰延税金負債	176	124
退職給付に係る負債	294	296
長期未払金	11	11
その他	1,149	1,139
固定負債合計	1,780	1,695
負債合計	18,389	18,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	10,243	10,204
自己株式	△74	△74
株主資本合計	14,143	14,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,048	1,074
繰延ヘッジ損益	57	57
為替換算調整勘定	57	62
退職給付に係る調整累計額	25	24
その他の包括利益累計額合計	1,188	1,219
純資産合計	15,331	15,323
負債純資産合計	33,720	33,326

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第 1 四半期連結累計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日）	当第 1 四半期連結累計期間 （自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日）
売上高	14,473	15,586
売上原価	11,853	12,752
売上総利益	2,619	2,833
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	134	148
運賃及び荷造費	258	275
賃借料	63	45
役員報酬及び給料手当	751	731
貸倒引当金繰入額	22	67
賞与引当金繰入額	201	237
減価償却費	33	30
その他	825	863
販売費及び一般管理費合計	2,290	2,399
営業利益	328	434
営業外収益		
受取利息	9	20
受取配当金	14	16
受取賃貸料	21	21
業務受託料	2	2
その他	8	4
営業外収益合計	57	65
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	9
営業外費用合計	0	10
経常利益	386	489
税金等調整前四半期純利益	386	489
法人税、住民税及び事業税	199	246
法人税等調整額	△22	△69
法人税等合計	176	176
四半期純利益	209	312
親会社株主に帰属する四半期純利益	209	312

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	209	312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	26
繰延ヘッジ損益	△18	0
為替換算調整勘定	△7	5
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△42	31
四半期包括利益	167	344
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	167	344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	35百万円	31百万円